



豚コレラ問題の経過	
2018年 9月9日	岐阜県岐阜市の養豚場で豚コレラ感染を確認 国内では26年ぶりの発生
2019年 2月6日	愛知県豊田市の養豚場で感染確認。出荷先の長野県、滋賀県、大阪府などでも感染確認
7月 24・29日	三重県・福井県の養豚場で感染確認
9月5日	農水省が野生イノシシ向けワクチン入り餌の散布拡大の対策を発表
14日	塩尻市の県畜産試験場で感染確認
19日	高森町の養豚場で感染確認
10月7日	県議会として「対策の一層の強化を求める意見書」を国へ提出
15日	農水省が豚へのワクチン接種のための防疫指針を改定
25日	6県で豚へのワクチン接種開始(長野県は26日から)



始めました。10月26日から接種を

豚コレラは岐阜・愛知・三重・長野・大阪などの8府県に、野生イノシシの感染は長野県を含む11県にまで広がり、豚の処理頭数は14万頭を超えています。(10月29日現在)早期の感染拡大防止・終息に失敗したことは明らかです。感染区域が複数県に広域化したことと野生イノシシへの感染

豚コレラは岐阜・愛知・三重・長野・大阪などの8府県に、野生イノシシの感染は長野県を含む11県にまで広がり、豚の処理頭数は14万頭を超えています。(10月29日現在)早期の感染拡大防止・終息に失敗したことは明らかです。感染区域が複数県に広域化したことと野生イノシシへの感染

豚コレラ拡大阻止が急務 発生から1年余、豚コレラの拡大が止まらない

豚コレラは岐阜・愛知・三重・長野・大阪などの8府県に、野生イノシシの感染は長野県を含む11県にまで広がり、豚の処理頭数は14万頭を超えています。(10月29日現在)早期の感染拡大防止・終息に失敗したことは明らかです。感染区域が複数県に広域化したことと野生イノシシへの感染

17億2600万円余の一般会計補正予算案などを可決

9月定例会議会は、9月19日から10月7日までの19日間の会期で開催され、豚コレラのまん延防止や融雪・長雨等による災害対策などの事業費など総額17億2654万1千円及び23億2461万9千円の債務負担行為などを盛り込んだ一般会計補正予算案や人事案件等、知

台風第19号災害お見舞い

10月13日に発生した台風第19号による災害において、お亡くなりになられた皆様に哀悼の意を表するとともに、被害にあわれた皆様に心よりお見舞いを申しあげます。長野県議会は、「長野県議会災害対策連絡本部」を設置して、各会派が密に連携し、被災された皆様の一日も早い生活復興のため全力をあげてまいります。



飯田市・下伊那郡及び長野市を会場として

8月8日夜、我が会派として初めての県政対話集会を下伊那郡豊丘村の交流学習センター「ゆめあるて」で開催しました。この対話集会は、会派としてできる限り県内各地を訪問し、県民の皆様と直接対話しご意見等を聞き、県政に反映させようという広聴広報活動の一環として開催したものです。

当日は150人が参加され、県政に対するご意見・ご要望、国政や身近な課題に関する発言をいただき、活発な意見交換が行われました。

ご出席いただいた地元の8町村長からは、「人口

対話集会で県民の声聴く 視察や調査活動も活発に

の少ない村として少子高齢化の中で今後どのように自治体を維持していくか「また村職員は一人でも何役もこなしており大変」「小規模の町村を見捨てないで」といった切実なご意見や道路改良やインフラ整備のご要望など具体的なご提案をいただきました。

また、この対話集会に合わせ、8・9日の両日、①エス・バード(産業振興拠点・飯田市)を出発点として、②まいさば飯田(生活就労支援センター・同)、③社会福祉法人信濃こぶし会の「パドルダッククラブ」(児童発達障害支援事業所・喬木村)、

- ▽11月28日 開会
- ▽12月3～6日 開会
- ▽9～12日 一般質問
- ▽13日 委員会審議 閉会

11月定例会日程(予定)

今後の会派の議会活動に活かしてまいります。

「こぶし園」(就労支援継続B型事業所・豊丘村)、また④大型公共事業三遠南信自動車道の完成が間近となった天龍峡大橋(飯田市)、⑤あつたか

